

会 議 録

会議の名称	平成 27 年度 第 8 回 栃木中央地域会議
開催日時	平成 28 年 1 月 28 日 (木) 18 時 30 分開会～20 時 42 分閉会
開催場所	栃木市役所本庁舎 3 階 正庁
出席者及び欠席者氏名	別記 1 のとおり
事務局職員職氏名	別記 1 のとおり
その他出席者等	なし
会議事項	別記 2 のとおり
会議の公開又は非公開の別	公開
傍聴人の数	1 人
その他必要事項	なし
会議の経過 (議事の要旨)	別記 3 のとおり

別記 1 出席者及び事務局

○出席者 (委員)

会 長 佐山 正樹	副会長 石河 不砂
委 員 臼井 義雄	委 員 大浦 兼政
委 員 鬼塚 修	委 員 木村 隆夫
委 員 下田 明範	委 員 鈴木 林彌
委 員 中尾 秀美	委 員 町田 爽起夫
委 員 村田 弘子	委 員 渡邊 一浩

○欠席者 (委員)

委 員 青木 良一	委 員 大波 龍郷
委 員 杉山 栄	委 員 高瀬 淳
委 員 山口 真右	委 員 若林 芳明

○事務局

【総合政策部】

天海 俊充 (地域まちづくり課長兼栃木中央地域まちづくりセンター所長)
清水 孝之 (地域まちづくり課長補佐)
野中 聡 (地域まちづくり課主査)
福田 英臣 (地域まちづくり課主任)
山本 晃子 (地域まちづくり課主事)

別記 2 会議事項（議題及び会議結果）

1 開 会

2 会長あいさつ

佐山会長

3 議 事

- (1) 自主的審議事項に係る意見書に対する回答について（旧栃木警察署跡地の土地利用について）

担当課の回答を了承。

- (2) 栃木市文化振興計画実施細目（素案）についての意見について（回答）

担当課の回答を了承。

- (3) 組織機構の見直しについて（報告）【非公開】

見直しの内容は、市の記者発表まで非公開とする。

- (4) まちづくり実働組織について

議論の内容については議事録を参照のこと。次回も継続して検討する。

4 その他

- (1) 個人番号（マイナンバー）の提出について

- (2) 次回の地域会議について

・次回開催予定 平成 28 年 2 月 25 日（木） 18 時 30 分～

栃木市役所本庁舎 3 階 正庁

5 閉 会

別記 3 会議の経過（議事の要旨）

発言者	議題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
事務局	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 自主的審議事項に係る意見書に対する回答について（旧栃木警察署跡地の土地利用について）</p> <p>前回の地域会議で意見の方向性が示されたことを踏まえ、事務局が文言の案を作成し、委員の皆様の意見を参考にして意見書を完成させました。</p> <p>前回の地域会議では、「1月中旬を目途に意見書を提出できるように調整してほしい」とのことでしたので、1月12日に担当課に提出しました。その結果、担当課より回答が届きましたので、読み上げさせていただきます。</p> <p>※担当課からの回答については、栃木中央地域会議のページ「自主的審議事項」の欄を参照のこと。</p> <p style="text-align: center;">【回答の内容について質問等はなく、一同了承】</p>
佐山会長	<p>ありがとうございました。では、次の(2)栃木市文化振興計画実施細目（素案）についての意見について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(2) 栃木市文化振興計画実施細目（素案）についての意見について（回答）</p> <p>前回の地域会議で、栃木市文化振興計画実施細目（素案）について意見聴取があり、それに対して意見を付けて回答したところ、担当課より意見に対する回答が届きましたので、読み上げさせていただきます。</p> <p>※地域会議が付した意見と担当課からの回答については、栃木中央地域会議のページ「意見聴取事項」の欄を参照のこと。</p> <p style="text-align: center;">【回答の内容について質問等はなく、一同了承】</p>
佐山会長	<p>では、次の(3)組織機構の見直しについて、事務局より報告を受けます。本案件については、市の2月定例記者会見で正式な発表があるまでは非公開となりますので、皆様ご了承願います。</p> <p>(3) 組織機構の見直しについて（報告）</p>

事務局	<p style="text-align: center;">【内容については非公開】</p>
佐山会長	<p>では、次の（４）まちづくり実働組織について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>（４）まちづくり実働組織について</p> <p>まちづくり実働組織（以下、「実働組織」）のあり方については、昨年９月から皆様に議論していただいており、これまでの意見を整理すると、</p> <ul style="list-style-type: none"> ①中央地域全体を横断する形で１つ設置する ②中央地域をいくつかの区域に分けて区域ごとに設置する ③テーマを絞って複数設置する（この場合、活動区域が重なる場合は認定されない） <p>ということで、大きく３つにまとめられると思います。</p> <p>本日は追加で、宇都宮市の姿川地区まちづくり協議会についての資料をお配りしました。「まちづくり協議会」ということで、私たちが考える組織と同じようなものと考えられます。また、姿川地区の人口が約 42,000 人に対して、栃木中央地域の人口が４万人強、また、双方とも区域内に小学校が４校、中学校が３校あるということで、大いに参考にできると考えております。</p> <p style="text-align: center;">【宇都宮市姿川地区まちづくり協議会の説明】</p>
佐山会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ここからはフリートークで、皆様のご意見をお聞きしたいと思います。</p>
委員	<p>実働組織の活動区域が重なっては認定されないという条件がありますが、あるテーマ、例えば防災に関する活動を中央地域全体でやりたいという実働組織がある場合、自然とその１つしか認定されないということになりますよね。</p> <p>活動のテーマがまったく違うにもかかわらず、区域が重なっては認定されないとすると、地域全体を網羅する形で１つできるか、もしくはもっと小さい単位で、個別分断で立ち上げていくしかないわけですね。実働組織の立ち上げに当たり、条件が少し厳しいのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>１つの組織で１つの活動テーマというわけではなく、複数のテーマを掲げて活動していただければ問題ないと考えています。</p>
委員	<p>姿川地区で活動しているグループの広がり、活動している皆さんの範囲を見ると、栃木市で考えている組織立ち上げのイメージよりもっと広範なんですよ。小さい単位で立ち上げるとなると活動資金も限られてきます。もし、中央地域</p>

	<p>全体で1つ立ち上げるなら、姿川地区のようにいろいろな部会を設置して、様々な活動ができるような仕組みにしておく必要があると思います。</p>
委員	<p>栃木中央地域の中でも、中心部とその周りでは抱えている課題がだいぶ違うと思います。中央地域全体で一括して立ち上げようとする、テーマ別の部会でうまく対応していく形になるのでしょうか。</p>
委員	<p>テーマを1つに決めてしまった場合、後でテーマを増やすことはできますか。</p>
事務局	<p>それは可能です。</p>
委員	<p>実働組織を立ち上げた後で、そこから抜ける、もしくは活動区域を縮小することはできるのですか。その場合、実働組織を一度解散させる形になるのですか。</p>
事務局	<p>一度認定を受けた後で、抜けたり解散したりするのは好ましいことではありません。立ち上げの際に組織を構成する皆様でよく相談していただいたうえで、組織の運営を行っていただきたいと思います。</p>
委員	<p>そういうことであれば、組織の中で部会を作って動きやすくするという意味で、全体で1つの組織を作っておいたほうが動きやすいのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>栃木東部（国府・大宮）及び西部（皆川・吹上・寺尾）地域は、5つの地区が完全にエリア分けされており、その中で様々なテーマを持って活動しています。中央地域内でも、大きな組織の中でそれぞれのテーマを持って部会を展開していくことは可能です。</p> <p>私たちの目指す実働組織は地域性を重視しているので、テーマで結びつくというよりは地域で結びつく、エリアで分けるという考え方です。</p>
委員	<p>姿川地区は自らのホームページを持っているわけですが、中央地域の実働組織が新たにホームページを作成する場合、その費用はどうなるのですか。</p>
事務局	<p>活動に対する補助金は5万円ですので、その中で対応することになります。</p> <p>ホームページの作成を委託する場合、事業費の補助は経費の2分の1ですから、残り半分は実働組織の自主財源となります。</p>
委員	<p>中央地域では、現在でも地区ごとに行っている行事やイベントが結構多いので、それらを次第にまとめて、拡大させていけばよいのではないかと思います。</p> <p>例えば、体育協会は各地区に支部がありますが、支部ごとの行事のほかに、栃木市体育協会として栃木市全体で行事を実施することもあります。そういう形で</p>

委員	<p>活動を広めていくのがよいのではないかと。</p> <p>現在でも地区自治会連合会の単位で様々なことをやっています。さしあたり、地区ごとに立ち上げる形でいいのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>実働組織の立ち上げ方にはいくつかあると思います。姿川地区の資料を見ると、市で1つの大きな受け皿を作って、その中で様々な団体が比較的自由に活動しているようです。地域全体で1つ立ち上げても、もっと小さい単位で立ち上げても、それぞれにメリット・デメリットがあると思います。</p> <p>ただ、組織をスタートさせることをまず考えるならば、例えば地区自治会連合会ごとに一旦立ち上げてから、全体会議などを開いて方向性を見ながら、長いスパンで取り組んでみるのも一案ではないのでしょうか。そちらのほうが比較的簡単に立ち上がると思いますし、組織としてのまとまりも良いように思うのですが。</p>
委員	<p>地域会議で組織立ち上げのイニシアチブをとるのであれば、各地区の人口や高齢者の割合などを示した資料をいただかないと、議論できないと思うんです。</p> <p>地区ごとの人口の規模や構成がわからなければ、課題もそれぞれで違うわけですから、実情が全然違う区域が結びついても比較になりません。イニシアチブをとるならば、もっと分かりやすい資料を出していただかないと困ります。</p>
委員	<p>「ニワトリが先かタマゴが先か」ということと同じで、活動テーマによってそれぞれの組織を作るのか、1つの組織を作ってから部会をたくさん派生させていくのかという問題だと思うんです。</p> <p>テーマを見つけてそれぞれの組織を作っていくというのは時間もかかりますし、簡単にはできません。せつかく栃木中央地域という1つの大きな枠組みができたわけですから、まずは中央地域全体で組織を作って、姿川地区のように構成団体の協力を仰ぎながら、課題にマッチした部会をそれぞれ立ち上げていくのはどうでしょうか。これが現実的ではないかと思うんです。</p> <p>立ち上げた後、中央地域の皆さんから様々なご意見が出るでしょうし、それによって皆さんが興味ある分野の活動に参加していけばよいのではないかと思います。</p>
委員	<p>姿川地区を実働組織の完成形のひな型とすると、この中央地域で1つのまとまりが果たしてできるのでしょうか。テーマ別という話も出ましたが、現段階では地区ごとにどのような特性や課題があるのかもわかりません。</p>
委員	<p>地区ごとに立ち上げると活動のテーマは決めやすいと思いますが、活力がある地区とそうでない地区では全然違います。私はあえていろいろな組織や団体が出る組織を作ったほうがよいと思っています。</p>

	<p>実働組織には、地域の横串になる役割を皆さんが期待していて、そこでは中央地域全体で協力できるような体制が求められていると思うんです。中央地域には巴波川や山車、歌麿など、栃木市の魅力を全国へ発信する素材にも恵まれています。地域の素材や資源を活かして互いに協力し合える関係、さらには市内の他の地域とお互いの地域の特性を活かしながら協力し合える関係を何とか作れないか。地域としての活力は、そういう中から生まれてくるのではないかと思います。</p> <p>これからの栃木市を皆さんが住みやすく活力ある町にしていくために、互いに協力して活力を生み出せるような人間関係、組織関係を作っていくのがこの会議の役目だと考えています。</p> <p>実働組織は自分たちの意思で組織を立ち上げて、これから新しい世代に何かを植え付けていくような活動をしなくてはならないと思います。地区に分かれて活動を縛ってしまうと、そこにいる人はある特定の活動しかできなくなってしまう恐れもあります。若い世代が核となって推進していかないと、大きく発展するような組織にはなりません。</p> <p>地区ごとの活動はもちろん大切ですが、それらは既存の活動と変わりが無いわけで、実働組織では何か新しいことを生み出していかないといけない。その意味で、地域内の一人ひとりが実働組織に自由に参加できるシステムを作らないといけないと思います。</p> <p>個人的には「最初に組織を作る」という発想は官庁的であって、上からの押しつけ的な組織では力がなかなか発揮できないのではないのでしょうか。実働組織はエネルギーなものにしていかないと。</p> <p>民間では、プロジェクトの最初にアイデアの種を出し合います。そこでは「費用がかさむから」といって潰されてしまう種も多いのですが、そのアイデアを思い切って推進できる人材とそれを守る上司がいないと物事は動きません。実働組織が推進部隊なら、この地域会議は実働組織の活動を守る存在でありたいと思うんです。</p>
委員	<p>現実的な話をする、我々が実働組織に参加するわけではないんですよね。このままでは、委員自らが実働組織の立ち上げに直接関わらないと前に進まないのではないのでしょうか。</p> <p>実働組織の立ち上げに当たり、誰かボランティアを募りますと言っても、それだけでは人はなかなか集まりません。委員である我々でもイメージできていない部分があるわけですから、市ももっと積極的に支援していただかなければ、全然動かないと思います。</p> <p>現実的にできることから始めないと、話はまとまらないですよ。</p>
事務局	<p>大きな組織を作ったほうがよいとの意見がありました。どうすれば実際に動く人が出てくるかということについて、この中央地域には何らかのテーマを持って</p>

	<p>活動したいと考えている方、また実際に活動している方が多くいらっしゃると思います。その皆さんが人材として出て、まずは1つの組織をつくり、それからテーマごとに部会などを組織して、地域に横串を刺すような活動していくのが望ましいと考えています。</p> <p>幅広い団体の方々に1つのテーブルで話し合ってもらって、どのような活動ができるのかという議論をしていく中で、実際に動く人材が出てくるのではないかと期待しています。</p>
委員	<p>その場合、実働組織の活動区域を中央地域全体としておかないと、活動区域が重なってしまったらできないということですか。</p>
事務局	<p>もちろん、活動区域を大きく設定して組織したほうが柔軟に対応できると思います。それが地域内の多くの人材を生かす方向に持っていけないのではないかと、事務局では考えています。</p>
委員	<p>例えば、高齢者福祉や地方創生、地域活性化、学童保育など、活動テーマを地域会議で絞ったうえで、実際に活動する方を事務局に集めてもらい、それぞれのテーマに賛同する人がグループを作ったらいいんじゃないですか。</p>
事務局	<p>実働組織は自主自立、独立した組織として立ち上がります。その中で「自分たちはこういうものを求めている」というメンバーの意志に基づいて活動テーマに沿った部会ができて、そこから出発しないと、その後の展開がなかなか見通せないのではないかと考えています。</p> <p>地域会議が実働組織の活動テーマを決めるわけではありません。</p>
委員	<p>この制度は、スタートする前にいろいろな決まり事があって、あまりにも枠にはまったやり方を求めているのではありませんか。実際のところ、誰か若い人が手を挙げたとしても、前には進まないと思いますよ。</p>
委員	<p>実働組織の立ち上げについて、地元の自治会にはすでに話してあるのですか。</p>
事務局	<p>広く地域の皆様に対する説明会は開いています。また、「まちづくり懇談会ふれあいトーク」において、市長や総合政策部長が皆様に説明しています。</p>
委員	<p>実働組織が活動の原資として会費を集めるとして、実際に会費を集めるのは自治会なのではないかと思ったんです。その意味で、地元の自治会長の皆さんには事前にきちんと話しておかないと、立ち上げに支障が出るのではないですか。</p>
委員	<p>自治会にその話を持ってこられても困ります。そこまで手が回りません。</p>

事務局	<p>地域予算を最初に検討した際に、委員の皆様から多くのアイデアを出していただきました。それらはまさに、実働組織がやるべき活動をイメージされてお話しされていたように感じています。</p> <p>この地域会議では、あくまでも実働組織のあり方のみを議論していただき、それを参考意見として、実働組織に参加している方々の中で、どのように立ち上げるのか具体的に検討していくことになります。</p>
佐山会長	<p>非常に遠大な計画ですが、これがうまくできればきらりと輝くものがあると思います。地域の皆様が楽しみつつ市を活性化できる手法を、実働組織が生み出していければよいと思います。</p>
委員	<p>実働組織を1人で立ち上げることは可能なのですか。</p>
事務局	<p>それはできません。そもそも実働組織が認定を受けるには、組織の規約を作ることや複数の構成団体からなることなどの制約があります。多くの団体の参加の下で、何をやりたいのかを自分たちで議論して動くのが理想です。</p>
委員	<p>その逆はないのですか。</p>
事務局	<p>実働組織が立ち上がった後で、その中の1人の方が特定のテーマで活動するというのであれば問題ありません。</p> <p>基本的に、最初からテーマありきで活動するというになると、それは現在も広く行われている市民活動の延長であると考えています。</p>
佐山会長	<p>枠組みを限定して考えると動きづらいのは委員ご指摘のとおりです。例えば、姿川地区の構成団体を見ると、地縁を軸にした団体が多いように思います。それらが協力し合える実働組織になればいいですね。</p>
委員	<p>それでは、地域会議は実働組織の地区割りを考えるということですか。</p>
事務局	<p>決してそういうわけではありません。ここまでの議論では、実働組織の活動区域は大きく捉えたほうがよいという意見が多かったように感じています。</p>
委員	<p>いきなり姿川地区のような組織を求めても、簡単なことではないですよ。ここまでの組織に育て上げるには、相応の時間もかかっているでしょう。</p>
事務局	<p>地区割りについては、実働組織を実際に立ち上げる方々の意思によります。</p>

佐山会長	<p>議論を通して聞いていると、この会議に求められているものがある程度出てきていると思います。自分たちのコミュニティだけを見ては、新しい話はなかなか出てきません。この地域会議の場だから出た意見もたくさんあります。栃木市を住みやすくして元気にするにはどうしたらいいかという方向性で、お互い協力していきたいということは委員の皆様も同感だと思います。それをどういう形で集約していくか。従来の自治会やコミュニティの活動を超えて、一本先に進める形でまとめていきたいと考えています。</p> <p>この件については、また次回も議論するという事で終えたいと思います。ありがとうございました。以上で本日の協議事項は終了いたしました。この後の進行は事務局をお願いします。</p>
事務局	<p>4 その他</p> <p>(1) 個人番号（マイナンバー）の提出について</p>
事務局	<p>(2) 事務連絡</p> <p>・ 次回開催予定 平成 28 年 2 月 25 日（木） 18 時 30 分～ 栃木市役所本庁舎 3 階 正庁</p>
	<p>5 閉会</p>